

2月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	11,341	94	10,016	224	111	259	-	0.0	静岡、長崎、熊本島産中心の入荷となる。静岡は主力品種「青島」の入荷量は前年の90%程度であるが、果実肥大は良好で2L、L中心の入荷となる。長崎は「伊木力系」が中心の入荷で、入荷量は前年より少ない。果実サイズはM中心となる。全体の入荷量をかなり下回り、価格は前年をかなり上回るものの平年よりは低くなる見込み。
りんご類	6,594	90	6,552	241	125	250	18	0.3	青森産が殆んどを占め、山形、岩手、秋田産も入荷する。青森のふじの産地在庫は前年の90%程度となっている。果実サイズは40玉が中心となる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	4,228	105	4,224	1,152	104	1,165	-	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温の影響で生育は停滞気味に推移しているが、着果状況は良好で、2月の入荷量は前年より多くなる。福岡は1月末～2月上旬にかけて入荷量はやや少なくなるが、中旬には多くなってくる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格も前年をやや上回り平年並みとなる見込み。
メロン類	299	90	343	1,227	105	1,024	-	0.0	静岡、熊本、宮崎、高知産が中心となる。品種はアールスメロン、アンデスメロンなど。静岡のアールスメロンは外観品質良好で、果実サイズは6玉の8kg台中心の見込み。入荷量は作付け面積の減少により、前年の95%程度となる。熊本のアンデスメロンは1月下旬～2月上旬までピークとなり、果実サイズは6玉/5kg中心となる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。